

人間国宝 土屋順紀 紋紗着物「山河」作品披露



～紋紗着物「山河」～

関市をイメージする色とは、山々の緑と川の流れの青だと思います。関の花である菊で染めてみたいと思っておりましたところ、昨年の秋に菊友会の皆様の御厚意で大輪の花を頂戴し、緑がかったグレーを染めることが出来ました。関市を地図上で見ると大鳥が翼を広げているように見えます。緑と青とが重なり合いながら左右に広がっていくデザインで関市を表現して、これから増々飛翔していくことを願いながら心を込めて織らせて頂きました。

土屋順紀



土屋順紀さんプロフィール

昭和29年関市本町に生まれ、昭和56年より関市に工房を構える染織家です。

重要無形文化財保持者（人間国宝）である「紬織」の志村ふくみさんと「羅」「絹錦」の北村武資さんに師事し、「紋紗」の技法で平成22年、国の重要無形文化財保持者に認定されました。

土屋さんの「紋紗」は、紋紗織に絢の技法を融合させた独自の技法を用います。巧緻な織りとぼかしの経縫が生み出す纖細なグラデーションは、植物染料を生かした優しい色合いに、軽やかさと奥行きを与えています。



テノール (Tenor)

じょう ひろのり
城 宏憲

プログラム

ロッシーニ / 約束
マイヤベーア / 歌劇『ユグノー教徒』より「白駒よりもなお白く」
ビゼー / 歌劇『カルメン』より「花の歌」
ヴェルディ / 歌劇『ドン・カルロ』より「私は彼女を失った」
プッチーニ / 歌劇『トスカ』より「星は光りぬ」など
※プログラムは予定のため変更になる場合があります。



指揮者・ピアニスト

なかはし けんたろうざえもん
中橋 健太郎左衛門

桐朋学園大学卒業。
藤原歌劇団、東京二期会、新国立劇場等で活動。
これまでに指揮者として各地で、フィガロの結婚、秘密の結婚、椿姫、リゴレット、カルメン、こうもり、タンホイザー、ローエングリン、ボエーム、蝶々夫人、トゥーランドット、ナクソス島のアリアドネ、アラベラなどを指揮。
2014年、R. シュトラウス「アラベラ」全曲舞台上演において、神奈川フィルを指揮。2018年及び2019年には、藤原歌劇団公演 メノッティ「助けて！宇宙人がやってくる」を指揮。

ピアノ奏者としても、びわ湖ホール主催マスタークラスから招聘されるなど活躍。